

さめきっ子 キャリア・パスポート



1年 組 番 ()

記入した日 月 日

1 大人への第一歩 自分自身を見つめる

(1) この1年間の自分の姿を思い出してみましょう。

① 小学校時代の自分と比べて、中学生になって変わったと思うことは何ですか。

.....

中学校に進学しての1年間を振り返って書かせましょう。行事や活動を思い出させたり、その都度書いた感想文なども活用したりしましょう。小学校の時の自分の姿を思い出させ、自分が成長したと感ずることなどを書かせましょう。

② 今の私は…

今の自分の姿を素直に見つめさせる部分です。あいさつ、時間を守る、言葉遣いなど基本的な内容を設定しています。各学校の目標等に応じて項目を変えることもできます。

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
・いつでも気持ちのよいあいさつをしています。				
・時間を守って行動しています。				
・時と場合に応じた言葉遣いや行動を心がけています。				
・何事も「やればできる」と考え、行動しています。				
・これだけがんばっているとと言えることがあります。				
・だれに対しても公平に接することを心がけています。				
・社会や集団の決まりを守り、責任をもって役割を果たしています。				
・社会の一員としての将来の自分の姿を考えています。				

(2) 家族や地域の一員としてのあなたは？

○そこでの自分の仕事や役割 ()
 ○心に残っていること

.....

中学生になると学校生活が中心となる傾向がありますが、将来を見据えて、家庭や地域の一員としての自己の役割を考えさせることも大切です。取り組んだボランティアや地域行事について振り返らせましょう。

2 あなたのよいところやがんばっていることは何ですか。

自分のいいところ、頑張っているところを書かせることで、自己肯定感の育成につながります。教師からの助言や、友だちからの言葉を聞かせる工夫などでもできます。子どもの記述から教師が見えていなかった部分に気付くこともあります。道徳や学級活動で行った活動を思い出させることも有効です。

3 この1年間で最も印象に残っている活動を振り返りましょう。

○どんな活動が心に残っていますか。

○そこでのあなたの役割は…

○印象に残っている理由は…

中学校1年生として初めて経験した活動の中で最も心に残ったものについて、果たした役割などを思い出しながら振り返らせましょう。友人や上級生の姿に学んだことなどについても考えさせ、2年生となる自分の姿について想像させるのもよいでしょう。各学校におけるキャリア教育全体計画において1年生で取り組んでいる内容があれば、それについての振り返りにするのもよいでしょう。

4 あなたの将来の夢は何ですか。

○将来の夢は…

○夢の実現に向けて頑張ろうと思っている

中学生の時期は、夢と現実の間で揺れ動く時期です。小学校までの夢を考えつつ、中学校での学習や体験（職業調べなど）を参考にさせ、書かせるとよいでしょう。10年後の自分を考えさせるなど、問いかけの工夫もできます。

()から

子どもが書いたシートを持ち帰らせ、保護者にも励ましの言葉を書いてもらったり、友だちに言葉を書いてもらったりさせましょう。教師が子どもの肯定的な面をとらえて、称賛や励ましの言葉を記入してもよいでしょう。

さめきっ子 キャリア・パスポート



2年 組 番 ()

記入した日 月 日

1 大人へのステップ 「働くこと」を考える

(1) この1年間の自分の姿を思い出してみましょう。

① 今年一番頑張ったことは何ですか。

.....

.....

.....

.....

中学校2年生は目標を失いがちな時期ですが、1年生の時の経験を踏まえ、行事や活動の中で頑張ったことも多くあるはずです。一番頑張ったことを書かせる中で、そこで感じたことなどについても書かせてみるとよいでしょう。

② 今の私は…

今の自分の姿を素直に見つめさせる部分です。あいさつ、時間を守る、言葉遣いなど基本的な内容を設定しています。各学校の目標等に応じて項目を変えることもできます。

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
・いつでも気持ちのよいあいさつをしています。				
・時間を守って行動しています。				
・時と場合に応じた言葉遣いや行動を心がけています。				
・何事も「やればできる」と考え、行動しています。				
・これだけはがんばっているとと言えることがあります。				
・だれに対しても公平に接することを心がけています。				
・社会や集団の決まりを守り、責任をもって役割を果たしています。				
・社会の一員としての将来の自分の姿を考えています。				

(2) 家族や地域の一員としてのあなたは？

- そこでの自分の仕事や役割 ()
- 心に残っていること

.....

.....

.....

中学生になると学校生活が中心となる傾向がありますが、将来を見据えて、家庭や地域の一員としての自己の役割を考えさせることも大切です。取り組んだボランティアや地域行事について振り返らせましょう。

2 あなたのよいところやがんばっていることは何ですか。

自分のいいところ、頑張っているところを書かせることで、自己肯定感の育成につながります。教師からの助言や、友だちからの言葉を聞かせる工夫などでもできます。子どもの記述から教師が見えていなかった部分に気付くこともあります。道徳や学級活動で行った活動を思い出させることも有効です。

3 この1年間で最も印象に残っている活動を振り返りましょう。

○体験内容

○心に残った言葉（体験先の方や家族、先生、友人から）

○体験を通して感じたこと

○体験を通して成長したと感じること

中学校2年生では「職場体験活動」が行われています。実際に仕事を体験して、そこで見たり聞いたりしたことや感じたことなどについて振り返らせましょう。学校で作成した報告書などを振り返らせるのもよいでしょう。「働くこと」の意義や意味について考えさえながら、将来の自分自身について見つめさせましょう。

4 あなたの将来の夢は何ですか。

○将来の夢は…

○夢の実現に向けて頑張ろうと思っていることは

中学校2年生の時期は、夢と現実の間で悩んだりする時期です。将来の社会人としての自分の姿を考えることを通して、社会的・職業的自立へ向けたキャリア発達を促すようにしましょう。

()から

子どもが書いたシートを持ち帰らせ、保護者にも励ましの言葉を書いてもらったり、友だちに言葉を書いてもらったりさせましょう。教師が子どもの肯定的な面をとらえて、称賛や励ましの言葉を記入してもよいでしょう。

さぬきっ子 キャリア・パスポート



3年 組 番 ()

記入した日 月 日

1 大人への出発 社会の一員として

(1) 中学校卒業までの自分について考えてみましょう。

① 小学校のころから今までの自分の足跡を振り返って、今思うことは何ですか。

小学校から中学校までの生活を振り返って書かせましょう。行事や活動のあとに書いた感想文などを活用したり、これまでの「さぬきっ子チャレンジノート」を活用したりすることも考えられます。9年間で自分がどのように成長したか、じっくりと考えさせてみましょう。

② 今の私は…

今の自分の姿を素直に見つめさせる部分です。あいさつ、時間を守る、言葉遣いなど基本的な内容を設定しています。各学校の目標等に応じて項目を変えることもできます。

	あてはまる	ややあてはまる	あてはまらない	あまりあてはまらない
・いつでも気持ちのよいあいさつをしています。				
・時間を守って行動しています。				
・時と場合に応じた言葉遣いや行動を心がけています。				
・何事も「やればできる」と考え、行動しています。				
・これだけはがんばっているとと言えることがあります。				
・だれに対しても公平に接することを心がけています。				
・社会や集団の決まりを守り、責任をもって役割を果たしています。				
・社会の一員としての将来の自分の姿を考えています。				

(2) 家族や地域の一員としてのあなたは？

○そこでの自分の仕事や役割 ()
 ○心に残っていること

中学生になると学校生活が中心となる傾向がありますが、将来を見据えて、家庭や地域の一員としての自己の役割を考えさせることも大切です。取り組んだボランティアや地域行事について振り返らせましょう。

2 あなたのよいところやがんばっていることは何ですか。

自分のいいところ、頑張っているところを書かせることで、自己肯定感の育成につながります。教師からの助言や、友だちからの言葉を聞かせる工夫などできます。子どもの記述から教師が見えていなかった部分に気付くこともあります。道徳や学級活動で行った活動を思い出させることも有効です。

3 中学校時代を振り返って…後輩に伝えたいこと。

義務教育段階を終えるに当たって、これまでの自分を振り返りながら、頑張った活動や後輩に託したい事柄を書かせたりする欄として使用します。後輩に伝えたい内容について、1年生や2年生に紹介するなどの工夫もできます。

4 あなたの将来の夢は何ですか。

○将来の夢は…

○夢の実現に向けて…（これからの計画を考えてみましょう。）

中学校の最終学年として、将来の社会人、職業人としての自分の姿を考えることを通して、社会的・職業的自立へ向けた意識を高めるようにしましょう。

()から

子どもが書いたシートを持ち帰らせ、保護者にも励ましの言葉を書いてもらったり、友だちに言葉を書いてもらったりさせましょう。教師が子どもの肯定的な面をとらえて、称賛や励ましの言葉を記入してもよいでしょう。